

報告事項 1

(1) 「こむぎっち号」の運行状況について

(2) 「こむぎっち号」の利用状況について

①令和3年度上里町コミュニティバス「こむぎっち号」利用実績

年月	利用者数全体	中央ルート		北部ルート			南部ルート		
		利用者数	運行日数	利用者数		運行日数	利用者数		運行日数
				アグリパーク 上里循環	ウニクス 循環		アグリパーク 上里循環	ウニクス 循環	
R3.4	1,372 人	1,106 人	26 日	40 人	57 人	13 日	91 人	78 人	13 日
5	1,277 人	1,064 人	26 日	28 人	28 人	13 日	78 人	79 人	13 日
6	1,194 人	918 人	26 日	36 人	66 人	13 日	88 人	86 人	13 日
7	1,235 人	955 人	27 日	40 人	37 人	13 日	83 人	120 人	14 日
8	1,148 人	922 人	26 日	32 人	30 人	13 日	65 人	99 人	13 日
9	1,140 人	934 人	26 日	34 人	27 人	13 日	61 人	84 人	13 日
合計	7,366 人	5,899 人	157 日	210 人	245 人	78 日	466 人	546 人	79 日
				455 人			1,012 人		

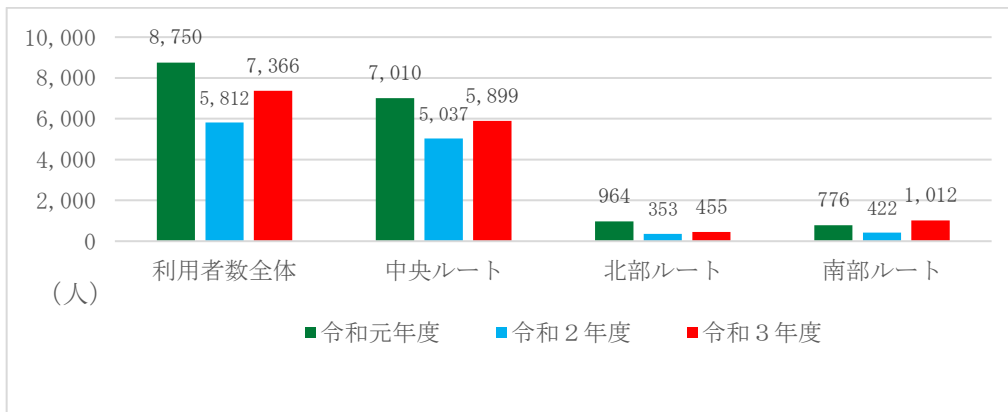
②令和2年度上里町コミュニティバス「こむぎっち号」利用実績

年月	利用者数全体	中央ルート		北部ルート		南部ルート	
		利用者数	運行日数	利用者数	運行日数	利用者数	運行日数
R2.4	680 人	583 人	26 日	40 人	13 日	57 人	13 日
5	688 人	601 人	26 日	36 人	13 日	51 人	13 日
6	1,109 人	951 人	26 日	78 人	13 日	80 人	13 日
7	1,200 人	1,041 人	27 日	78 人	14 日	81 人	13 日
8	1,148 人	1,010 人	26 日	49 人	13 日	89 人	13 日
9	987 人	851 人	26 日	72 人	13 日	64 人	13 日
合計	5,812 人	5,037 人	157 日	353 人	79 日	422 人	78 日

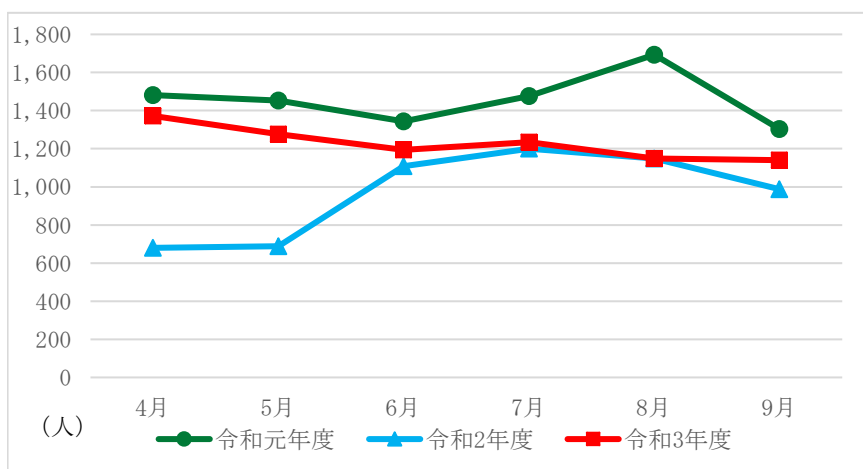
③令和元年度上里町コミュニティバス「こむぎっち号」利用実績

年月	利用者数 全体	中央ルート		北部ルート		南部ルート	
		利用者数	運行日数	利用者数	運行日数	利用者数	運行日数
H31.4	1,481 人	1,178 人	26 日	200 人	26 日	103 人	26 日
R1.5	1,452 人	1,146 人	27 日	170 人	27 日	136 人	27 日
6	1,344 人	1,052 人	25 日	159 人	25 日	133 人	25 日
7	1,477 人	1,183 人	27 日	172 人	27 日	122 人	27 日
8	1,693 人	1,372 人	27 日	156 人	27 日	165 人	27 日
9	1,303 人	1,079 人	25 日	107 人	13 日	117 人	12 日
合計	8,750 人	7,010 人	157 日	964 人	145 日	776 人	144 日

【ルート別集計】



【月別集計】



(参考) 新型コロナウイルス感染症発生に伴う埼玉県 の緊急事態措置

年度	期 間
R2	R2.4.7～R2.5.25
	R3.1.8～R3.3.21
R3	R3.8.2～R3.9.30

○令和元年9月にダイヤ改定、令和3年3月にルート再編を実施したため、3カ年のこむぎっち号の運行形態（ルート、運行日、便数）が異なる。そのため、利用者数推移のみを比較すると、令和2年度は緊急事態措置（R2.4.7～R2.5.25）の影響で、利用者数が減少しているため、令和3年度の利用者数は令和2年度より増加している。しかし、令和元年度と比較すると、約15%減少している。

○令和3年4月～9月のルート毎の乗り継ぎ券を利用した利用者数の合計は126人であった（内訳：中央ルート50人、北部ルート10人、南部ルート66人）。支線ルート利用者における乗り継ぎ券の利用状況割合は、北部ルートは2.2%、南部ルートは6.5%であり、南部ルートの方が約3倍の利用があった。

○令和3年度全体の利用者数が減少しているが、南部ルートについては、令和3年度の利用者数は令和元年度と比較して約1.3倍伸びている。南部ルートの乗り継ぎ券を利用した66人を差し引いても946人であり、令和元年度より約1.2倍伸びている。

一方、北部ルートについては、令和2年度と比較すると、増加したものの令和元年度と比較すると、半数以下となり大幅に減少した。支線ルートの利用者数の増減は、コロナの影響だけではなく、令和3年3月に実施したルート再編も大きく影響していると考えられる。

○令和2年度の緊急事態措置中の利用者数は大幅に減少したが、令和3年度の緊急事態措置中は大きな変動はなかった。コロナ禍でも安心して利用して頂けるよう、引続き感染症対策を徹底していく。